

見学日時 2018年05月30日

見学者 東京電機大学 建築・環境計画研究室

修士2年 齋藤 亮太

学部4年 榎村 賢

押尾 萌加

高橋 亮哉

訪問先担当者 HATCHi 金沢 緒方 康浩

訪問目的：複合起点型共生コミュニティの概念によって地域づくりと医療・介護・生活・就労の基盤再整備の手法の統合的整理、その拠点形成のための計画手法の提言を行う研究の一環として、地方創生 HP の取り組み事例にて紹介されていた施設へのヒアリング調査を行い、改修の経緯やコミュニティ形成の方法などを把握するため。



△外観写真

〈施設概要〉

施設名：HATCHi 金沢-THE SHARE HOTELS-

所在地：石川県金沢市橋場町 3-18

改修前：仏壇センター

開設：2016年3月18日

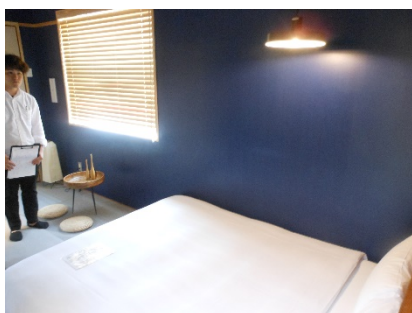
構造：RC造スケルトン、木造インフィル

階数：地下1階 地上4階

部屋数：ドミトリー5室、個室9室

運営：株式会社リビタ

① 4F SUPERIOR 3 (23 m²、3人部屋、個室、専用シャワートイレ)



HATCHi 金沢、唯一の和室タイプの部屋。

もともとは4階の物置だった。

現在は4階唯一の部屋となっている。

この一室のみベランダがある。

専用のシャワールームとトイレがついている。

② 2、3F BUNK BED 3 (9-10 m²、3 人部屋、個室、共有シャワートイレ)

③ LOFT 3 (7 m²、3 人部屋、個室、共有シャワートイレ)



2、3Fは元事務所。

②は二段ベッドとソファベッドのある部屋。

③は上にダブルベッドがあり、下にソファベッドがある。

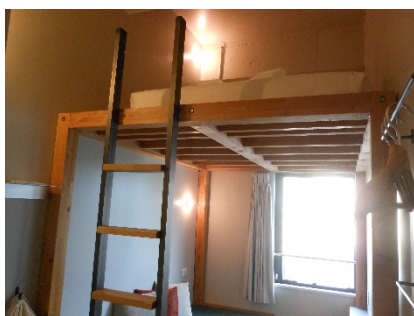
ちょっとした洗面台や、冷蔵庫が各部屋にある。

シャワーは2、3階に個室宿泊者のための共有シャワールームがある。

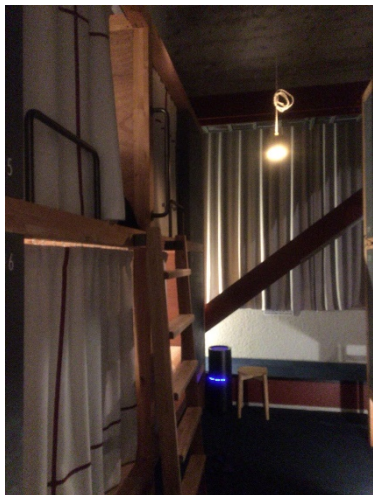
両部屋とも天井が高い事務所だったためできたつくりである。

二段ベッドやダブルベッドが練る場となり、ソファベッドがくつろぐ場となる。

トイレはドミトリータイプの部屋と共有である。



④ 2、3F Bed in FEMALE DORMITORY (2-3 m²、8、20 人部屋、共有シャワートイレ)



特注フレームを使った二段ベッドが4~10台並べられている空間となっている。

ベッド1台当たりの空間は他のドミトリータイプのホテルに比べ、荷物置きがあるなど開業当初ではかなりゆとりのある空間となっている。

シャワーは共有のものが地下1階にあり、トイレは各階に共有トイレがある。

マットレスは他のものより寝心地がいいと運営の緒方さんが言う、シモンズのものとなっている。

⑤ 1F フロント

ショップ

飲食店(HUG&Go# Coffee and Stock、和食レストラン「a.k.a」)



元仏壇センターが現在はフロントとショップと飲食店となっている。

フロントは面積、運営のしやすさ、周囲からの見た目等の点を THE SHARE HOTELS の 2 号店以降にて改善する参考となっている。

飲食店は金沢市内に 4 店舗ほどある人気のお店の



HUM&Go と、HATCHi 金沢ができるタイミングで復活した和食レストラン a.k.a の 2 店舗が時間を分けて客席を共有しながら運営している。

ギフトショップではフロント下に並ぶ北陸 3 県の商品を紹介している他、フロント左にある広めのポップアップショップでは定期的に北陸 3 県の商品を入れ替えながら販売を行っている。



また、観光地に立地していて休日などは人通りが多いため、施設前でも食べ物、飲み物、アクセサリなどが販売できる屋台の貸し出しも行っている。

施設の見た目からカフェやギフトショップと間違えて入ってくるお客さまも多い。

⑥ B1F シェアキッチン&ラウンジ

Bed in FEMALE DORMITORY (2-3 m²、10 人部屋、共有シャワートイレ)

シャワールーム



地下 1 階は元飲食店街。

雰囲気を残すために飲食店街だったころの看板をそのまま残している。

シェアキッチンでは近江町市場が近いので食材を買ってきた宿泊者がほぼ毎日のように料理をしている。

特に外人が多いという。

時には運営者の方々と一緒にご飯を食べながら交流を図れることもあるらしい。

日中は宿泊者の利用の他に、ワークショップなどのイベントのためにスペース貸しを行っている。

利用頻度は 2 週間に 1 回ほどである。

モニターがあるため、テレビも見れるし、パソコンと繋いでの利用もすることができる。



地下のドミトリーは暗く落ち着いた雰囲気があるが、逆にその暗さから、朝、起きれないという方もいるらしい。

ドミトリー宿泊者の共有シャワールームでは清潔に保つためにバスマットを一回使ったら交換できるようにになっている。



ヒアリング内容

- ・改修に至った経緯：都市で成立しやすいモデルであるシェアオフィスやコワーキングスペースなどのスペース運用を地方でどう運営し利益にしていこうかという話からホテルが提案された。
そしてホテルや空きビルなどの空き物件で条件の合うものを探し、見つけたのが旧仏壇センターであった。
- ・企画・運営：株式会社リビタ
- ・設計・監理：様々な会社に関連しているため、後日メールにて。
- ・施工：同上。
- ・コンセプト：北陸ツーリズムの発地
HATCHi 金沢を起点として北陸3県を回ってもらうためにご案内や各県のアート作品を取り揃えている。
- ・図面：間取り図のみ、後日メールにて。
- ・お客様について：観光者が多い。日本人：外人＝5：5 くらいの割合。
平均年齢層は20代後半から30代前半。
- ・参考事例：Nui . HOSTEL & BAR LOUNGE
- ・利点、欠点：利点
他ホテルと違い、カフェやギフトショップと勘違いして地域の方や観光客が入ってくるほど入りやすさがある。
素泊まりホテルから食事の場所として紹介される。
欠点
パッと見でホテルと分からないこと。
しかし入ってからそうなのかと理解してもらえれば。
- ・運営する上での工夫：清潔感、ご案内などに気を付け、予約サイトの口コミがよくなるように心がけている。
- ・使った補助金：後日メールにて。
- ・工期：同上
- ・地域交流：1Fカフェにてカウンターで隣になった時など地域の方と宿泊者の交流が生まれている。

まとめ

HATCHi 金沢はプロジェクト-**THE SHARE HOTELS**-の1号店として様々な施策と挑戦をしてきた。リノベーションは新築に比べ費用が掛からない利点を生かし、北陸3県のアート作品を施設内の各所に展示している。中には HATCHi 金沢のために作っていただいた非売品等も置いている。現在は2号店以降も完成し、北海道、東京、石川、京都に点在している。

ホテルというよりも人の集まるコミュニティスペースとして北陸3県のひと・もの・ことが集まる場をもっと認知させ、有名な方よりもローカルで面白いことをしている人の拠点施設としてつながりをつくっていけるように支援していく。また、観光者と地域が混じることによって観光を濃密にし、また来たいと思えるような体験ができるよう心掛ける。